

原っ子だより

学校通信 第6号
令和3年6月30日
文責 校長 徳本ひとみ



防災への取組～自分たちに何ができるだろうか？ 自分たちもメッセンジャーになりたい！

4年生の総合的な学習の時間の取組を紹介します

4年生は総合的な学習の時間に毎年防災について学習しています。今年も梅雨の時期の6月はじめから、防災について本格的に考え始めました。初めは担任の加島教諭が、「今年の4年生も防災に取り組むべきなかどうかをまず話し合いましょう。」という大きな問い合わせを子供たちに投げかけました。すると、子供たちの意見は2つに分かれ次のような理由を言いました。

自分たちが今年度も防災に取り組むべき	防災に取り組まなくてよい
・阿賀は山が多いから土砂崩れの心配がある。	・すでに対策はしているし、何に取り組めばいいのか思いつかない。
・豪雨災害のことを忘れている人もいる。	
・過去4年生がずっと取り組んできた。つなげていく必要がある。	
・コロナで避難しない人がいるかもしれない。	
・防災についてはまだ分からぬことや知らないことがある。	
・災害から命を守りたい。	

【5月31日】

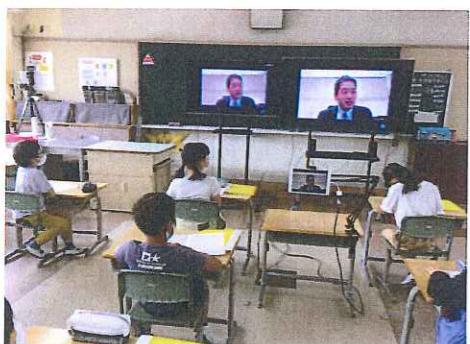
子供たちからはこのようにいろいろな意見が出てきましたが、結論が出ません。そこで、本校がずっとご指導をいただいている呉工業高等専門学校教授河村進一先生から学び、今後の話し合いに生かしたいという意見が出てきました。そこで、まずは河村教授に「防災についてオンライン授業で学びたいです。」と自分たちがお願いしてみるところから始めました。

河村教授からオンライン授業で防災について学べることが決定！



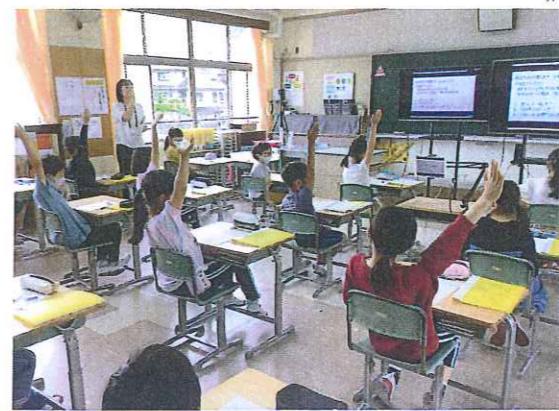
もしもし河村教授でいらっしゃいますか？

【6月4日】オンライン授業当日いよいよ憧れの河村教授とオンラインでつながりました。



さ自分で起〇ま空
を分いこ年し写原
改でたつうた真小
め守だて三〇で学
てるきい〇呉見校
感こつる年市せ区
じと自己サのての
まー分とイ災い地
ましのをク害た形
た大命教ルはだを
。切はえで二き航

まがはすふゆず
し大「。れるれ
た切危河る土「
。だい險村「砂「
といな教洪災害石
場授水害石流「
う所の「や流
こをおに、「
と知話分川な
がるかかのど
わ」「られ水の
かこまがい
りとすあわく



河村教授の質問に・・・「わかったぞ！」
元気いっぱい手を挙げます。

「災害の怖さ学ぶ」 原小学校 4年生
呉工業高等専門学校 河村進一教授

3年
災害の怖さ学ぶ
原小学校から
災害の怖さ学ぶ
中国新聞掲載
令和3年6月10日(木) 中国新聞掲載
令和3年6月10日 中国新聞に掲載
玄関に掲示していますのでご覧下さい。

この日、吉田壮志君は中国新聞社仁科記者からインタビューを受け「地域のことを知り、安全に避難できるようにしたい」と答えました。このオンライン授業の後、担任の加島教諭は子供たちにもう一度問いました。「今年も4年生が防災に取り組むべきだと思いますか？」すると「取り組まなくてよい」と答えていた児童の考え方を変わり全員一致で「取り組むべきだと思う。」と答えました。「やはり防災についてまだよく知らない人や下級生、地域の人々にも自分たちが知った情報を伝えていくたいと思うようになった。」と言うのです。今年度も原小学校の4年生は、河村教授からの学びをふまえ「自分たちに何ができるだろうか？」と問い合わせながらこの学習を前進させ、手作りの新聞を配等して地域の防災に貢献できるメッセンジャーになりたいと考えています。

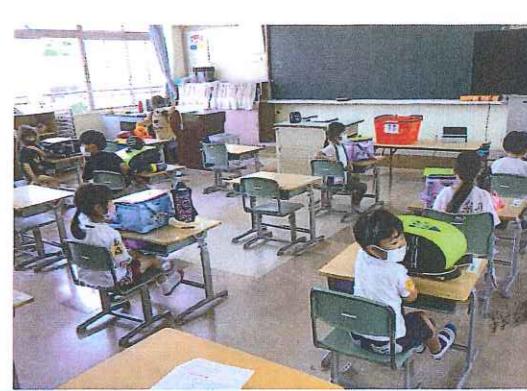
児童引き渡し訓練を行いました ~6月7日(月)実施~

今年度も本格的な梅雨を前に、「引き渡し訓練」を実施しました。緊急時や非常災害時を想定した「児童引き渡しカード」を使っての訓練でした。今年度は緊急事態宣言下での実施ということで人と人との接触の機会をできるだけ少なくするため1年生のみの訓練としましたが、ご協力のおかげで滞りなく訓練を終えることが出来ました。

学校では今後も呉市防災週間や学校行事、各教育活動等を通して子供たちの防災の意識を高めていきます。ご家庭でも、災害が発生した時にご家族が適切な行動が出来るよう、災害時の避難所や避難経路を日頃から話題にし、確認をされるようお願いいたします。



ご協力のおかげで引き渡しがスムーズに
進みました。



1年生は静かに教室で待機できました。

先日は「いじめ・体罰等アンケートのご協力、ありがとうございました。毎月第3火曜日に「ふれあい相談窓口」を設けております。お子様のことで気にかかることがあれば、遠慮なく学校にご相談ください。 電話番号 0823-71-7756
相談担当 上田教頭 真井教諭 竹中養護教諭